

2019年10月16日
株式会社ダイワコーポレーション

学生から「業界のイメージが変わった！」の声 必要なのは「体力」よりも「計算力」 ブロックで倉庫業を疑似体験 ユニークかつ実践的な取り組みで業界への意識向上を図る

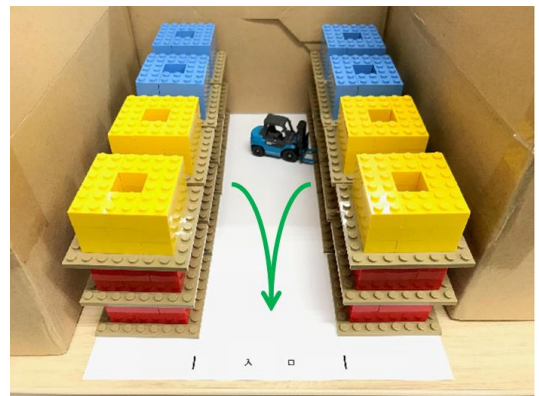
物流サービスを提供する株式会社ダイワコーポレーション（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：曾根 和光）では、7月30日（火）から9月3日（火）の間に1day インターンシップを計10回開催し、45名の大学生が参加しました。現在、9月17日（火）より第2弾のインターンシップを開催中です。

■ 業務内容や仕事のミッションのイメージが湧く、ブロックを使った実践型ワークショップ

当社が毎年行っている1day インターンシップでは、日常生活では接点の薄い「倉庫業」への理解をより深めてもらうために、おもちゃのブロックを使ったユニークなプログラムを行っています。

目的は、一般的に「体力」が重要だと思われる倉庫業において、実際は頭脳を使う「計算力」が重要であることを知ってもらうことです。倉庫での荷物の運搬はフォークリフトを使うことがほとんどで、実は体力はそこまで重視されないため、女性も働きやすい職場です。

実践型ワークショップでは、お客様の商品をどこに、どのように保管すれば効率的に入出庫に対応できるかを、倉庫内に見立てたA4用紙の上にカラーブロックを並べることで疑似体験してもらいます。



実践型ワークショップの回答例。通路が少ないほど、商品を置くスペースが増え、より多くの商品を置くことができる

9月17日から開催されている、第2弾のインターンシップでは、VRを用いて実際の倉庫を見ることができます。それを通しよりリアルな倉庫の現場を学ぶことができます。また、今後も内容の異なるインターンシップを随時開催いたします。

■ 参加者のほとんどが「大変満足」と回答。女子学生からは「業界のイメージが変わった」との声も

参加した学生へのアンケートでは、参加学生の87%が印象に残っているプログラムに「実践型ワークショップ」と回答しました。また、業界や仕事に関して考えが変わったこと、一番の気づきとなったことでは「力仕事を思い浮かべていたので、男性社員が中心の業界だと思っていた。力仕事より頭を使って考えることが重視されることがわかった」「荷物の積み方一つとっても意味があるということをもっと知りたいと思った」といった声が多く挙がりました。今回のインターンシップは女子学生が26名と男子学生の19名を大きく上回りましたが、「女性でも活躍している人が多いことがわかった」「社風が明るく業界のイメージが変わった」との声も聞かれました。



▼参加者の感想（一部抜粋）

- 「物流業界は男性がたくさんいるイメージだった。女性でも活躍している人が多いことがわかった」
- 「社風が明るく業界のイメージが変わった」
- 「ブロックを使用したワークにより、力仕事というより頭を使って考えることが重視されることがわかった」
- 「物流業に対してイメージが大きく変わり、お客様に対してより良く思ってもらえるような AI の活用に感動した」
- 「荷物の積み方一つとっても意味があるということ。もっと知りたいと思った」

■ビジネスや人々の暮らしを支える物流業界で働く

物流は世界経済や人々の暮らしから決してなくなることはない、重要なインフラです。物流業界では人手不足が課題に挙げられますが、当社ではインターンシップや会社説明会などの採用活動を通して、業界の重要性や物流会社の存在意義、成長性や安定性を伝え、当社で働くことを誇りに思い、一緒に盛り上げてくれる優秀な学生の獲得を図ってまいります。また、当社はビジネスでも「お客様の願いを共に実現する物流 CREATOR」として、ステークホルダーの皆様にご認知される企業を目指し、挑戦し続けてまいります。

VR を活用した第 2 弾のインターンシップなど取材を希望される方は、広報事務局（桶川 070-1639-9794）までご連絡下さい。

【1day インターンシップ概要】

テーマ : ダイワコーポレーションの仕事を疑似体験して理解を深めよう！

実施期間 : 2019 年 7 月 30 日（火）～9 月 3 日（火）に計 10 回開催

参加者 : 大学 3 年生 45 名（男子 19 名・女子 26 名）

開催趣旨 : ・企業研究の手法を理解する ・物流の仕事を理解する

プログラム : ①イントロダクション

- ②ダイワコーポレーション・物流業界とは
- ③仕事理解ワークショップ
- ④ランチ交流会

疑似体験ワークルール :

たくさんの商品（ブロック）と倉庫スペース（A4 の紙）を用意。倉庫の従業員となって、商品（ブロック）をパレットに置き、棚（ネステナー）に保管する。

- 【1】制限時間は 25 分。
- 【2】配られた紙の上に商品（レゴブロック）を配置する。
- 【3】「①安全に、②取り出しやすい状態で、③できるだけ多く」指定された場所に配置する。
- 【4】1 枚のパレットにはブロックを 12 個まで積載可能。
- 【5】パレット上のブロックの積み数は 3 段、パレットは 3 段積みまで可能。また段積みされたパレットは下の段も取り出せるものとする。
- 【6】商品を取り出す作業はフォークリフトにて行い、フォークリフトが旋回できる通路を確保する。

| フォークリフト | パレット | A商品 (毎日出し入れがある) | B商品 (月に1回出し入れがある) | C商品 (1年に数回出し入れがある) |
|---|---|---|--|---|
| 荷物の出し入れに使います。 | 荷物をまとめて置くために使います。(25枚) | 良く売れる商品です。出し入れ回数が多いです。(150個) | ほどほどに売れる商品です。AとCの間程度動きます。(100個) | あまり売れない商品です。出し入れ回数が少ないです。(50個) |
|  |  |  |  |  |

【会社概要】

会社名： 株式会社ダイワコーポレーション
代表： 代表取締役社長 曾根 和光
本社： 東京都品川区南大井六丁目 17 番 14 号
電話： 03-3763-4511（代表）
ホームページ： <http://www.daiwacorporation.co.jp/>
設立： 1951 年 10 月
資本金： 90,000 千円
事業内容： 普通倉庫業、倉庫施設等の賃貸業、ビル賃貸業、自動車運送取扱事業、
損害保険取扱業、不動産業、輸出入貨物取扱業、宅地建物取引業

＜報道関係者お問い合わせ先＞

ダイワコーポレーション広報事務局

担当：桶川（070-1639-9794）

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 メール：pr@netamoto.co.jp